

## FOAM-LIKE MULTI-PURPOSE DETERGENT UTILIZING CHEMICAL REACTION

Patent Number: JP7018298

Publication date: 1995-01-20

Inventor(s): HOSHI NORIKO

Applicant(s):: NORIKO HOSHI

Requested Patent:  JP7018298

Application Number: JP19930064576 19930215

Priority Number(s):

IPC Classification: C11D7/54

EC Classification:

Equivalents:

---

### Abstract

---

**PURPOSE:** To provide a detergent with which a part which has been difficult to clean can be smoothly cleaned.

**CONSTITUTION:** The detergent comprises a fluid based on hydrogen peroxide and a fluid based on sodium hypochlorite. When they are sprayed on a stained part or mixed before use, the foam produced by chem. reaction adheres to the stain, so that the cleaning effect is improved by the detergent and chemicals contained in both fluids and the stain is made to float up by the breakage of the foam. Thus, cleaning can be carried out without requiring rubbing and polishing and a sterilization effect can be expected.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-18298

(43)公開日 平成7年(1995)1月20日

(51)Int.Cl.\*

C 11 D 7/54

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全2頁)

(21)出願番号

特願平5-64576

(22)出願日

平成5年(1993)2月15日

(71)出願人 593056901

星 典子

埼玉県北葛飾郡吉川町平沼1344-5

(72)発明者 593056901

星 典子

埼玉県北葛飾郡吉川町平沼1344-5

(54)【発明の名称】 化学反応利用による泡状万能洗浄剤

(57)【要約】

【目的】 本発明は従来困難である清掃部分をよりスマートに作業できるための洗浄剤である。

【構成】 本発明は過酸化水素を基本とした液と次亜塩素酸ナトリウムを基本とした液を汚れた部分に噴射、あるいは、使用時に混合し化学反応により発生した泡が汚れに定着するため、両液に調合された洗剤、薬品により洗浄効果は高められ、泡が崩壊することにより汚れを浮上させ、擦らず、磨くことなく洗浄でき且つ殺菌効果もある洗浄剤である。

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 過酸化水素を基本とした液と次亜塩素酸ナトリウムを基本とした液を使用時に汚れの部分に噴射、あるいは混合してできた泡を定着させ汚れを浮き出させた万能洗浄剤。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、過酸化水素を基本とした液と次亜塩素酸ナトリウムを基本とした液とを混合した際におこる化学反応により、使用液の5～10倍の泡が発生汚れに定着し、泡の崩壊により汚れを引き出させるものである。

## 【0002】

【従来の技術】 過酸化水素を基本とした液、次亜塩素酸ナトリウムを基本とした液、且つ泡状の洗浄剤はあるが、壁面に吹き付けても流れ落ち洗剤分の効力が発揮できない。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 洗剤分の効果が発揮できない事、また見えない部分の清掃は、時間的、労力的且つ不経済もある。従って、強力な泡により、汚れの部分に付着するため洗剤効果が高められるものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、過酸化水素を基本とした液、次亜塩素酸ナトリウムを基本とした液とを使用時汚れた部分に噴射、あるいは混合してできた泡状をそれに付着させ、両液、あるいは片液に洗剤分を加えることにより汚れを引き出し、強力な泡が崩壊することによって汚れを浮上させ洗浄することにより問題点を解決している。

## 【0005】

【作用】 両液を吹き付け、又は、両液を混合すると強力

な泡が発生する。できた泡を汚れた部分に付着させると、汚れのひどい部分はなお一層の泡が発生し、汚れが浮上してくるものである。

## 【0006】

【実施例】 以下、一実施例を説明する。過酸化水素を基本とする液、例えば、過酸化水素にメタ硅酸ソーダー、トリロトリ酢酸ソーダー、トリオキシン、エチレン、ノニルフェノール、硫酸ナトリウム、サンメチル、サンメトキシブタノール、水酸化カリウムを加えた液と、次亜塩素酸ナトリウムを基本とした液、例えば、次亜塩素酸ナトリウムに水酸化ナトリウム、界面活性剤を加えた液を使用時に混合すると、使用液の5～10倍の泡が発生し汚れの部分に定着し洗剤効力を増大させ、泡の崩壊により汚れを洗浄する洗浄剤である。

【0007】 過酸化水素を基本とする液、つまり、過酸化水素のみ、あるいは、過酸化水素に加える薬品、濃度、配分は使用場所、用途、汚れの度合いにより調合し作られる。

【0008】 次亜塩素酸ナトリウムを基本とする液、つまり、次亜塩素酸ナトリウムのみ、あるいは、次亜塩素酸ナトリウムに加える薬品、濃度、配分は過酸化水素を基本とする液とのかね合い、使用場所、用途、汚れの度合いにより調合し作られる。

【0009】 過酸化水素を基本とする液、次亜塩素酸ナトリウムを基本とする液に色、香料を適宜に加えることができる。

## 【0010】

【発明の効果】 上述の様に、化学反応を利用した泡状万能洗浄剤はひどい汚れは勿論、パイプ等見えない部分の汚れを少ない労力で落とし、尚且つ殺菌効果も増大である。

10

20

30